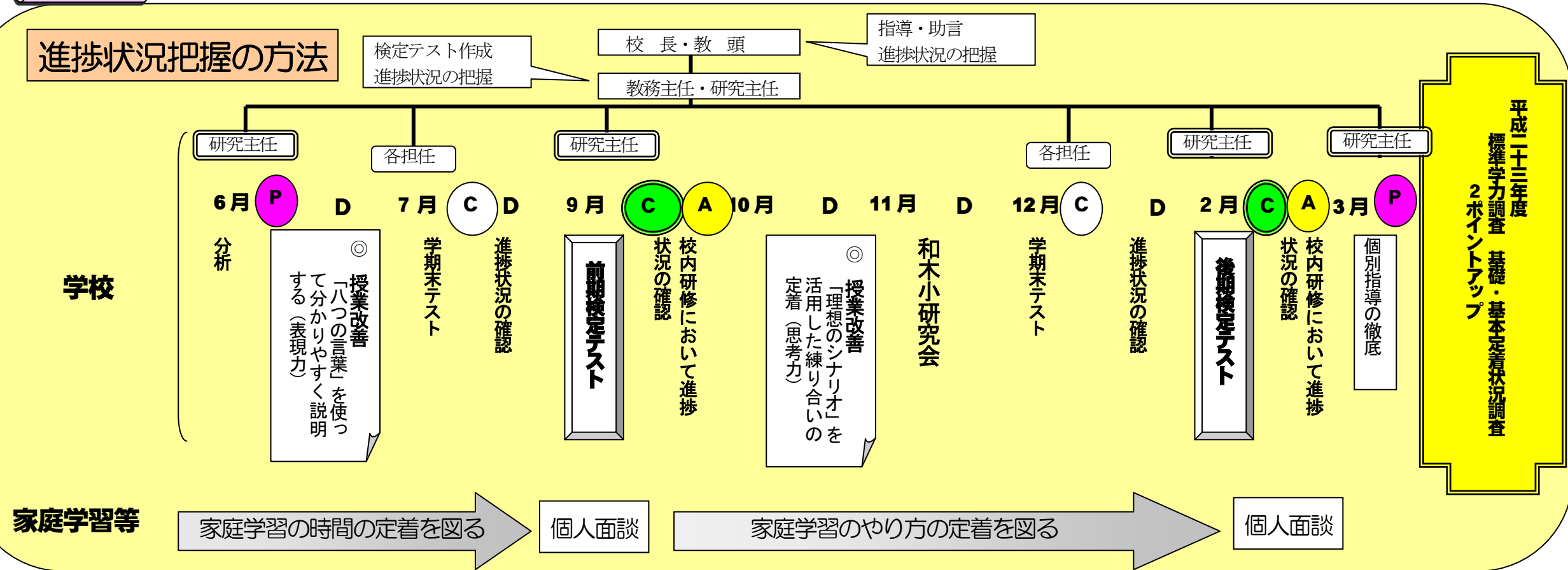


取組を進めるための計画

分析

いつ	2月	研修形態	校内研修	リーダー	研究主任
----	----	------	------	------	------

進捗状況把握の方法



進捗状況の把握

いつまでに	7月12月 9月 2月	どのような方法	単元末テストの結果 検定試験（本校オリジナル）の結果
-------	----------------	---------	-------------------------------

検証結果

授業がよくわかる(4段階評価尺度法)
【意識調査「わかる授業」の児童アンケート】
目標達成率: 80%以上 ➡ **98%**

算数科授業のユニバーサルデザインを研究主題とし、児童一人一人にわかる授業をめざして取り組んできた。前期の調査より6%上昇し98%の児童が「先生はわかる授業を行っている」と答えており、授業改善の成果が出てきている。

校内算数検定テスト
【校内検定テスト結果】
校内平均目標: 85点 ➡ **87.4点 89.0点**

【前期検定テスト9月】 【後期検定テスト2月】

後期の校内検定テスト89点は目標を達成するとともに、前期の結果を1.6点上回った。検定テストのためのフォローアップ問題に計画的に取り組めるよう、担任が1人1人と計画表をもとに、個人面談を行った。前期の取組の反省をもとに、計画の立て方や学習の仕方について改善を図れるよう指導を行った。自学の習慣が身に付いた児童も増加傾向にある。

理想のシナリオを書くことが「わかる授業」につながったか(4段階評価尺度法)
【意識調査「わかる授業」の教師アンケート】
目標達成率: 80%以上 ➡ **100%**

学期ごとに「理想のシナリオ」を基に研究授業を実施し、改善を積み上げてきたことで、めざす子ども像がより明確になり、具体的な指導の手立につながった。

成果と課題

- ユニバーサルデザインの取組と理想のシナリオを書くことは、具体的な授業改善の推進とともに授業がわかる児童の増加につながった。
- 検定テストの取組で、家庭学習の工夫をする児童や自学の習慣を身に付けた児童が増えた。
- 全ての教科・場面において、「理想のシナリオ」を基に思考力の向上に努めていく。
- 今年度比2ポイントアップのために、第2回検定テストの結果を検証し、年度末の学力補充を徹底して行う。